

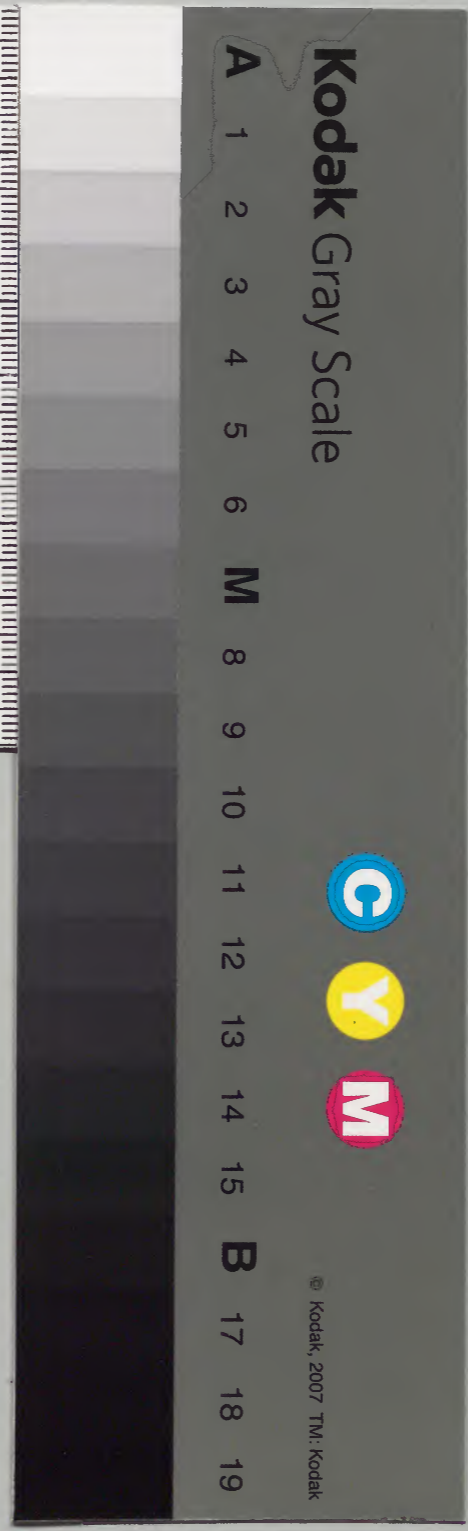
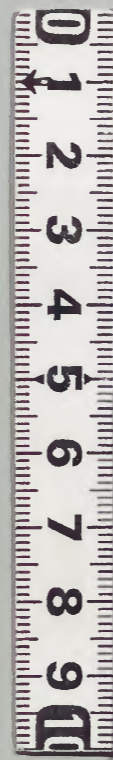
增見遊覽記

苗苙

			和書門
		二九一五七	
		一三六	
七八	九	七	
冊	架	函	號

庫文閣内			
二七	二九一五七		和書
七	七		
函	冊	號	類
二〇	九	八	
架			

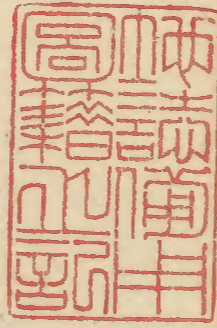
内閣文庫	
番號	和 29157
冊數	78 (35)
函號	177 901



出羽國秋田郡一
形在 迎長夜橋年 藤森坊
聖德太子社 泉郷 八所御
下 葛崎山見 塔田御舊跡
水 御 白幡社 黒駒形神
白駒形神 奉町 寺社



勝也
三十四
三十五
三十五
初
出羽國秋田
一



○出羽國秋田郡一



圖一〇九五號

形在

迦良美傳年、藤森坂

聖德太子社

泉郷、八ッ柵郷

鬼踰山見直

八幡田郷舊跡

水口郷

白幡社

黒駒形神

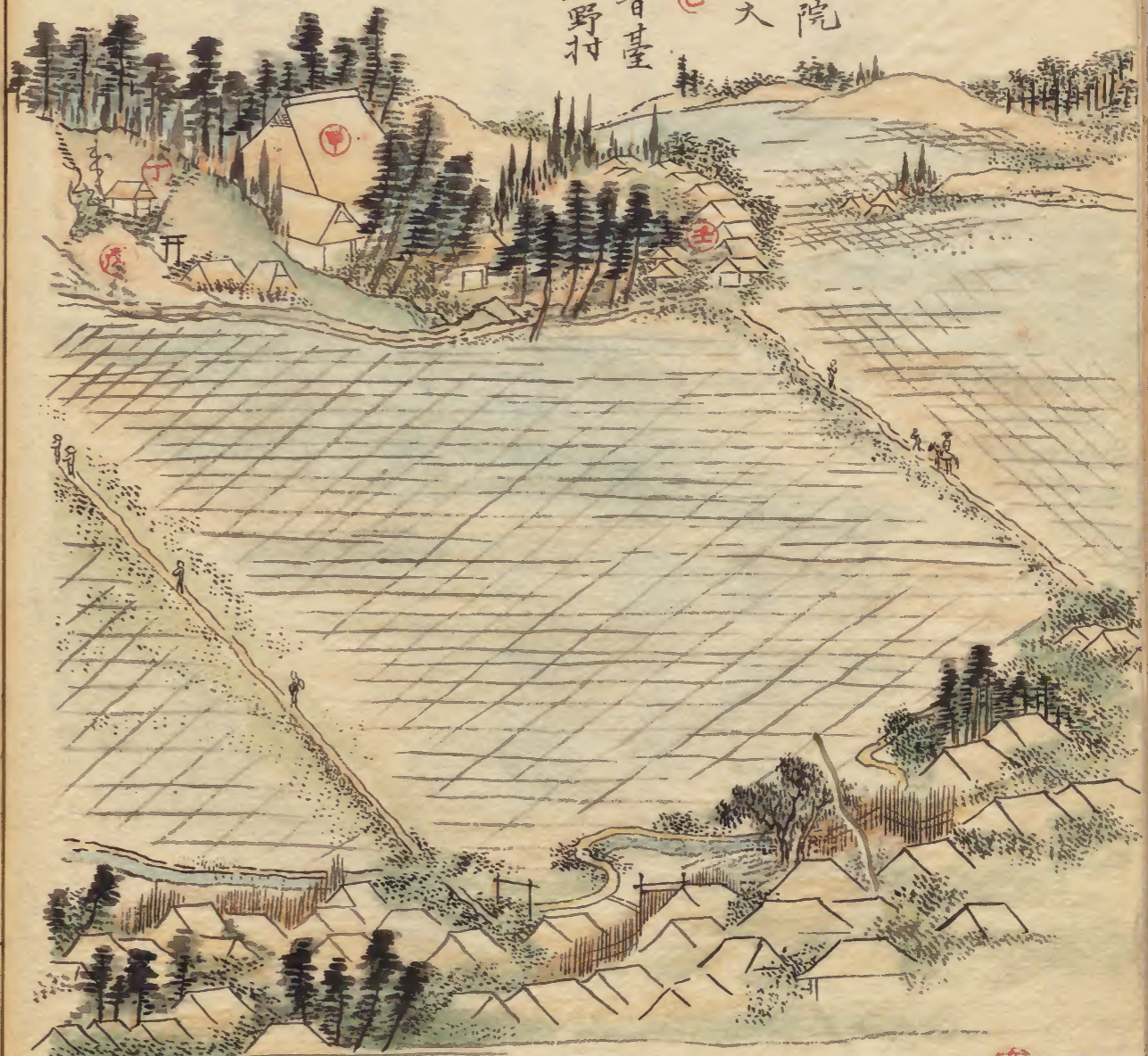
白駒形神

平野

寺裡見直

手形一

奥新屋敷
 見中
 閼信寺
 白馬寺
 子社
 伊呂波臺
 小澤村
 稻荷社
 聖徳大
 大澤村
 觀音臺
 蛇野村



庚申

北

鐘鳴正洞翠
 微基
 斗轉參橫響
 似雷
 昨夜山僧眠未覺
 曉天始聽誦經來
 右 惺齋林子
 風呼騰六乱紛々
 巽岳當簾望不分
 白馬白猶昏暮雪
 經來山影接浮雲
 右寧喬嶋幡



北

推古山 陸山也

此山の初り
 伊呂波臺は東の
 御座比良(甲)と云ふ
 地は豊御食炊
 屋姫天皇の陵と
 云ふ(乙)今(丙)の
 君ありて藤原の
 陸と云ふ今(丁)の
 雪見
 殿と云ふ今(戊)の
 ありて今(己)の
 松ヶ崎又柙位
 渡(庚)太平山
 又表呂智出峰と
 云ふ(辛)赤泥と
 雪消え(壬)と
 面白(癸)と
 近藤澤と

いかりの近き
 のむき
 田はあや



古の往復の跡大平澤ノ
 打田村は糠推(甲)
 通り裁え(乙)と云ふ
 石名坂を下りて
 極身田(丙)出て
 泉村(丁)かへり
 小菅聖の
 後(戊)と云ふ

月晴嶽面宿雲収
 推古曾聞物色幽
 若得樂山仁者壽
 清光不變約千秋
 古千得月庵記之末
 此書實永基年

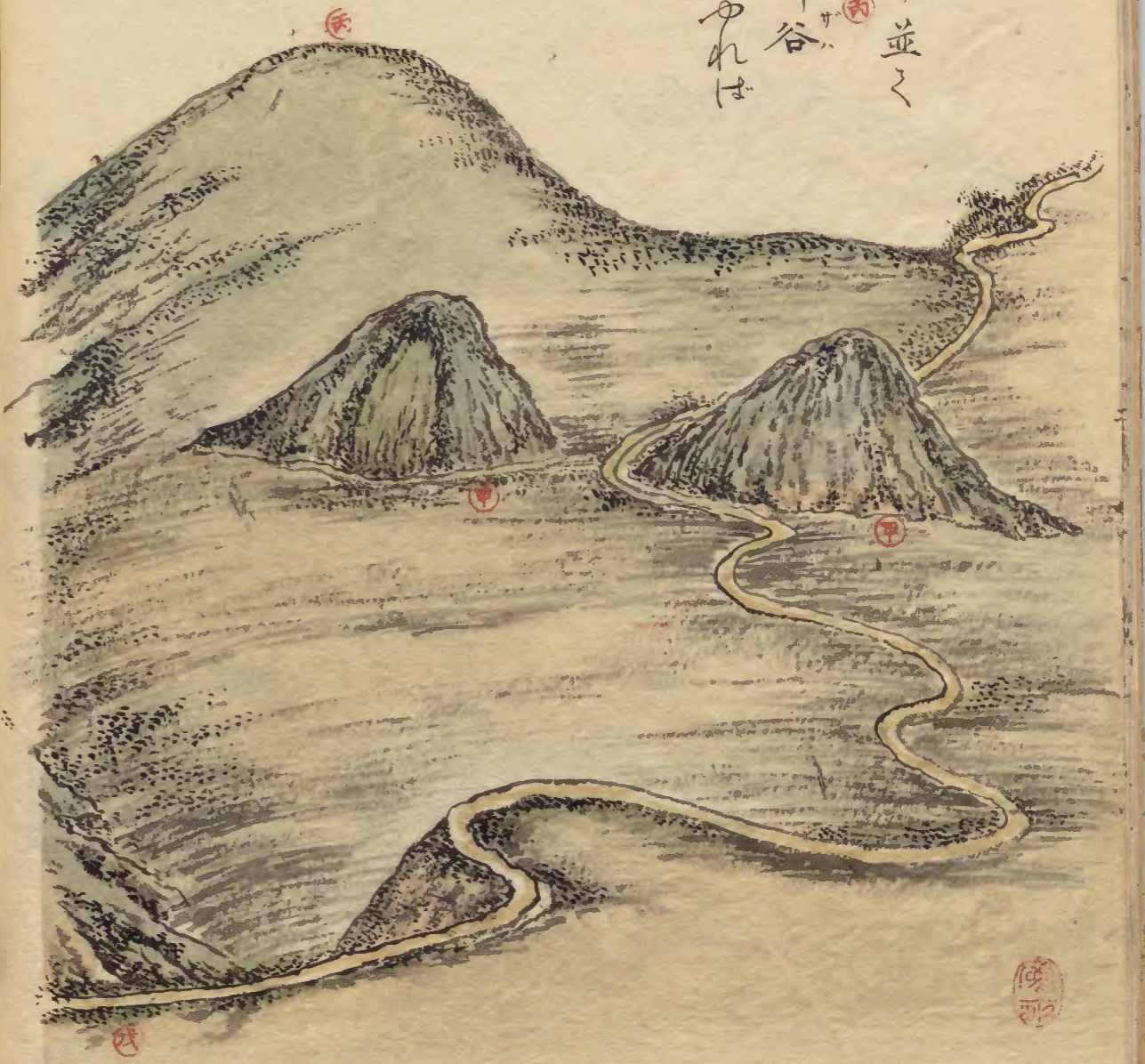
推古山秋月

怡軒岡張
 松平讚岐守殿内
 臣并全之介



三

年形山推古山
 の惣名
 ① 乳房杜
 ② 鷹息園
 ③ 大長峯
 ④ 次郎谷
 ⑤ 中野平
 ⑥ 新城庄
 ⑦ 白山嶽





如良美耐年
 草箇館
 屏濱六郎
 古城跡
 馬冷
 小池
 湯殿澤
 白坂館
 泉館
 中野
 臺の
 又巨
 志

印

搦手と云ふや
 城跡のあら
 三ついふや
 相撲
 新猿樂記
 云云在英高名
 相撲人也云
 内搦外搦巨懸
 小頭小脇逆手等
 上手云々



乙

乙

甲

丙

庚



八丁 笛所 三明院
守り守り
此處を友卷の
森とし



五

手形庄

大澤村聖徳太子

御堂八丁

金番山光福

寺せいの真言

宗小齋いーが

蹴り推古山

ゆりあ、又古四堂の御形

い、の聖徳太子の御形

あ、や今別當とく

正保三年のころ
すて此又澤を
深田村と云い
ま

泉八景
 翠陰田強 太田丹下
 醉裏悠然携手行
 泉村花月有芳盟
 農高皆化邦君德
 一曲高歌是頌聲



泉

泉郷
 あいそ泉といふは
 愛井のあつし
 伊豆の美い本ト出水
 ありて和泉のふも
 泉井上ノ神もせり
 此村の池蔵清水又徳寺の
 万能水長を衛門井
 かと地遠旭川も
 筋と形く村中を
 のくうてうも泉の
 名も流世
 泉といふ名も
 禁中といふ泉も
 古今著聞集州本條
 此花と泉の所へ
 うまくつてこの
 所遊のけをるこ





泉郷^二 甲 泉福院^{新儀}
 乙 文日如来堂^{三間}
 丙 十三佛堂^{四面} 稻荷社
 丁 青面金剛童子堂
 己 大山祇田神^{虚空藏合齋}
 庚 神樂殿
 辛 宥賢
 法印碑

高野山傳燈無盡
分火常燈之泉福院
園在今今地地之之
伊山伊山



傳燈肇云自行化
彼則功德彌增法
光不絕亦名無盡
燈



四
泉福院山墓

世の人並く亡人其骨を紀國高野山に
安置むそのゆゑに弘法大師
龍華三會地大定に伴りしもの
ありらるるやう此泉郷乃尾藤山乃
麓をこ高野山より送らるる
久保田ありしをせし人の三骸を
送りて此處に埋藏し鳥邊ありし地
又るがごときなりと云ふ

空海大師作文曰

我山所送置亡者之舍利我
毎日以三密加持力先送安
養實利當來我山可為慈
尊說法之聽衆菩薩
也



仙福雲深隔世塵
千章夏木綠精神
繁華多似新陰靜
自是山僧不惜春
右菊池武雅

和乎讀故守殿
家之菊池食



廣

五

泉郷の七堰堤と
 萬固山天徳寺の
 大菅野澤の池と
 在り夏々水涼く
 流も七筋水は
 螢いと多しひら
 名々好螢とて
 見ものせり
 此寺本常陸より
 河邊郡金鹿寺
 岨に遷されり
 此泉山ゆへに
 梅津万應の
 穿く寒水の名
 あは大菅野小
 菅野と廣野と
 山崩と田と
 今ハ澤の名と
 ぬれり



萬固山の門前路
 小田の中路あり

天徳晚鐘

竹堂遠通藝徒

渡邊如庵

眼穿天徳寺

門中生羅鐘

聲萬車空

六郡僧徒閉

法去華録報

暮殿西来



六
 泉村の
 熊野社舊地
 八丁村
 金砂寺
 富ノ小路古名
 天徳寺往復

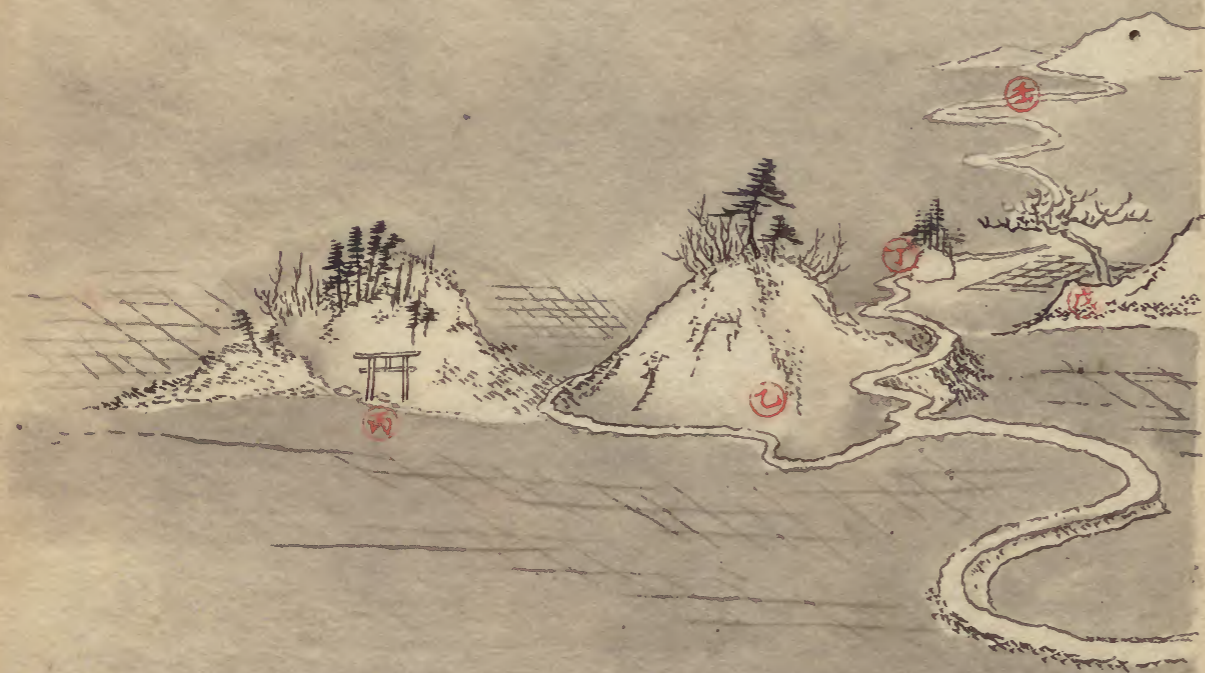


泉邨清風
 煙外悠然山色
 清西窓別古
 好風情農歌
 高曲斜陽裡
 過得暖雲難
 喜聲
 右野繼善
 牧野備中守殿内
 中野善介



神田

荒屋敷村 (甲)
 二箇杜 (乙) 弁天
 兎步 (丙) 御森
 古木 (丁) 榎澤海尼塚
 大蛇澤 (戊) 長峯
 高林 (己) 五十日子澤
 笹園路 (壬)





神田村

二箇社の西ありと辨天森といふ
 弁財天此石祠を土の埋りて山の
 どり 惟く齋ふやと云
 四月二日祭せり別當久保田明覺院之





八柙ノ庄

西村の木索屯

地藏堂

白山姫社

若宮八幡宮

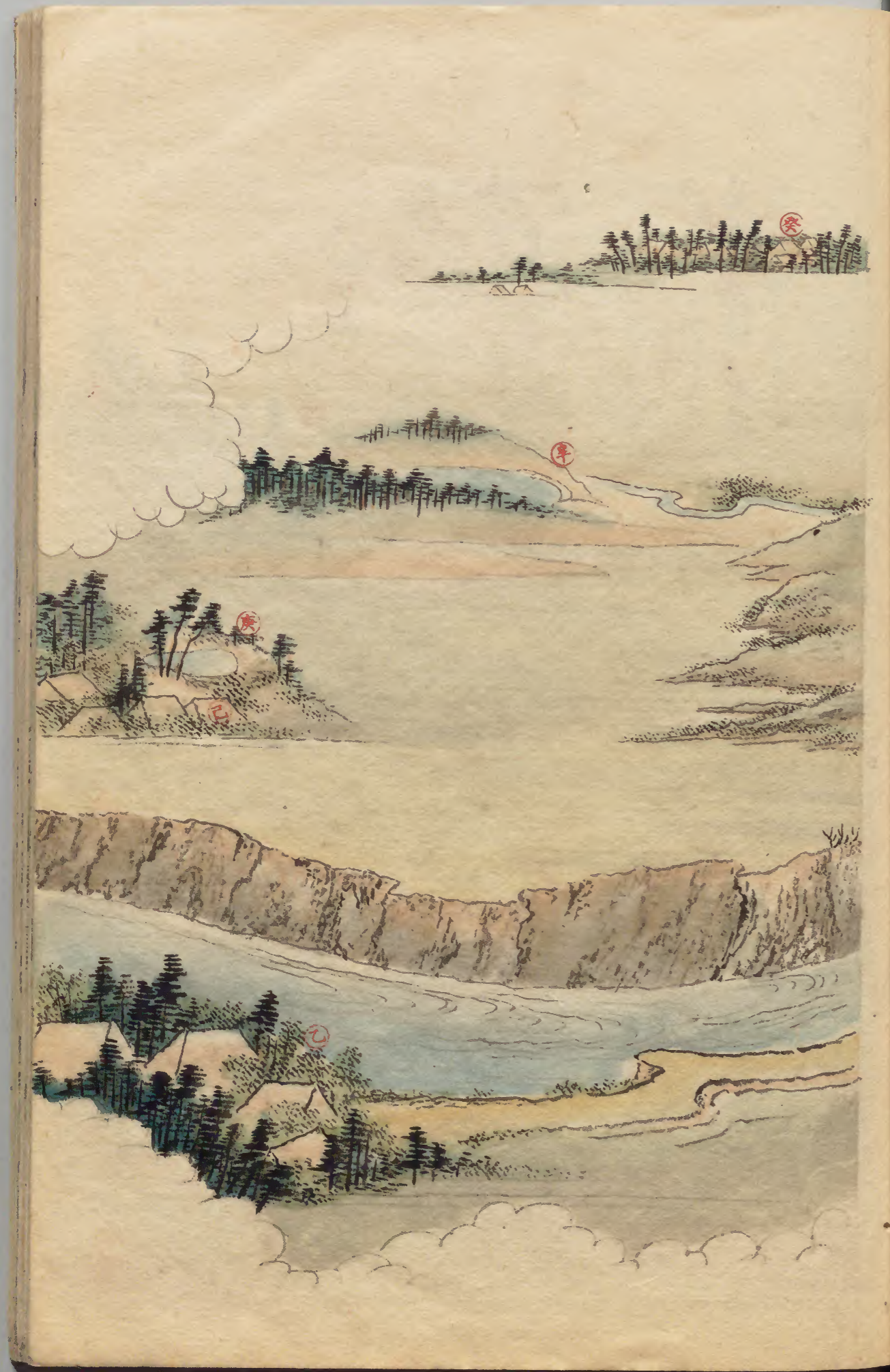
あしきせり

ゆきしり

田中村 四ッ屋村

あしきせり

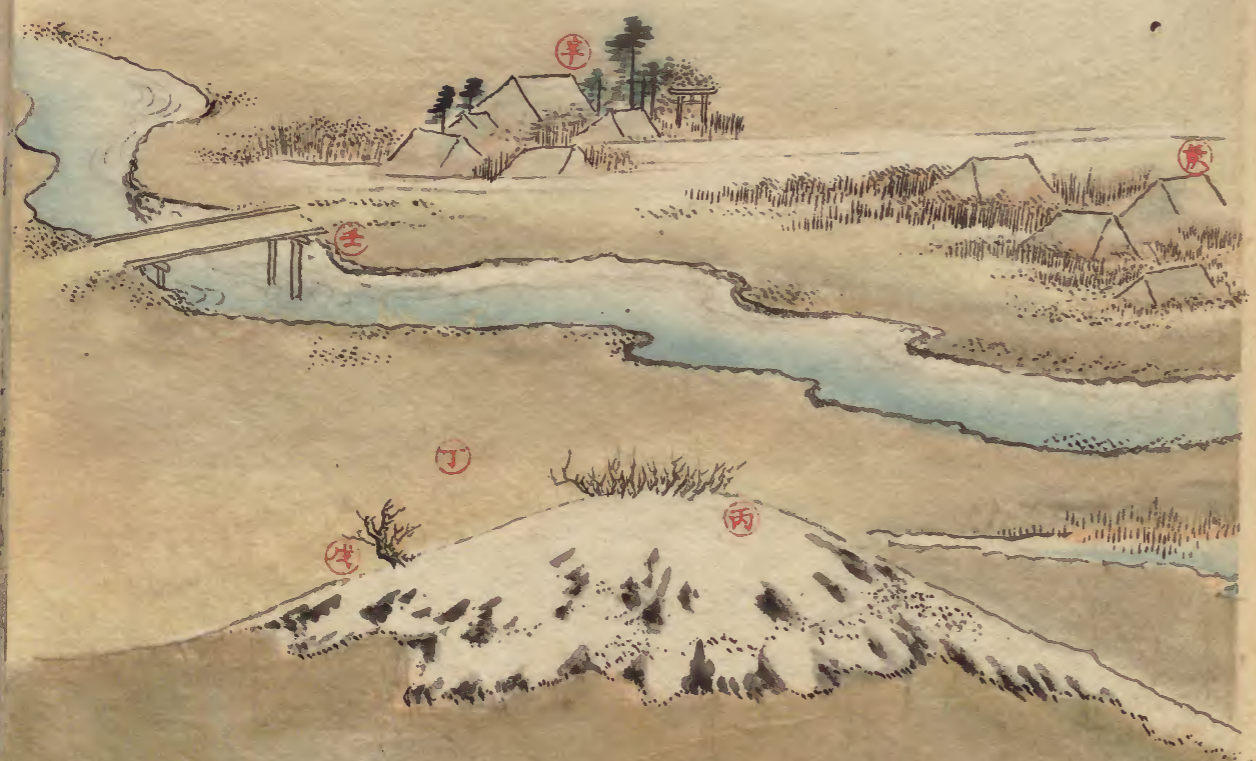




八柙ノ荘 二
 西村 田中村 大橋 少吹上 理れされ
 庚申堂 石塚 生根の池
 雨池 生根の池
 山橋と渡り 初ひき川の
 山麓敷の 土崎の溪の
 雄鹿の 杉形山 雲風山
 りとスゴウ

八柳庄 三

土油川クサツ川の甲かゝる乙ふ
其丙古河丁あり
御臺屋敷丙といふ所あり
今乙土油川丙とありぬ
八柳殿の御休所とて
ありしとありしとあり
其丁所甲の乙かゝる丙人家
ありしとありしとあり
高野村乙 野村丙 西村丁
西村甲の沙橋乙とありしとあり



古道六天正のころ
 万里小路中納言
 藤房卿
 出家
 無等良雄和尚
 山根の松原寺
 松山の松と秋
 植形出く
 古田王山小出
 北川の祠と橋を社
 ろる

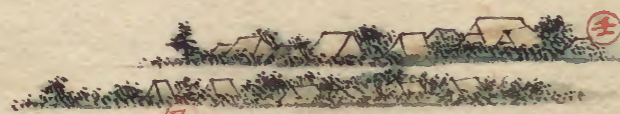


八柳庄 四止

奥水川の蓬田橋山根の
 七川唐衛門の家
 高野村
 雷殿
 石脳油川の水源
 矢橋



⑤



八
押
村
あり
あり
あり



⑥

秋田郡水口菰
神田郷
八村
① 新屋敷
② 楯野目
③ 屋敷田
④ 神明宮 未社
加茂明神
⑤ 八百川
⑥ 中神田
⑦ 三月田
⑧ 中嶋敷村
⑨ 沖村
⑩ 曲田



⑦

鬼踰山 見巨

八幡の村 祖神若宮
村在此村 敗邑
佐 昆沙門山 幡籠山
濁川村 在り
其山川 此山門山の
奥より 蛇走りの澤
事あり 此水白流
天國館 鬼城
山やいつ 高き
濁川村



和 漆川村との中 旭川
の原に在り
湯澤山 乘福寺
銀花の観世音
和 湯澤村との
の原に在り



八幡田邑

後紀廿七卷天長六年、
條云出羽國驛傳云鎮秋田
城國司正六位上上總介藤
原朝臣行則今日辰刻大地震
動響如雷霆登時城
郭官舎並四天王寺丈六佛
像四王堂舎等皆悉
顛倒城内屋什擊死百姓
十五人上體折損之類一百
餘人又城邊之大河秋田
河其水涸盡流細如溝
疑是河底辟分水涌海
歟云、漆河霸別兩岸
各崩塞云、又云、
高階負房云霸別と
爾別誤らむと云々、
考之漆川仁別本兩岸之
高王の舊跡と云、八幡田と云
あつむ田字と大佛田と云
大佛殿圓明寺政所と云
政所兄部と古大寺と云、
ありと云々、



善光寺の兄部あり又
羽黒山政所あり



美能久智 二

白幡社ハ乾小向てマセリ 麓小菅野と字ノ田の
四十枚あり 稻三百刈を伊予の人の小菅野乃
渡の跡之耕のときひくの川砂の鋤あつるといふ
船撃の大復しや枯と朽ゆきま松一本とてえと
今ぬるはるか松といひ近きところ 實生の
ワの復母樹の本ト近く生ひつゝその舟撃の代り本
やそありといふ

田代氏の夜話云九郎義経御膳川をワけて
蝦夷河へ渡りぬ御膳川と小菅渡りて
別官の船着るところを白幡神と齋と云ふ





白坂館甲 大森乙 黒駒社丙
 鶏鳴臺 五十日兒澤丁
 二箇社戊 辨財天己 鬼步荷
 森庚 靈神松辛 山崎大野
 氏岩壬 水口癸 笹岡泥子
 四屋丑 飯田寅 南澤卯
 笹岡辰

水白郷

黒駒の岨陰に^(甲)白駒
神とて白駒形石と云ふ
祭此此二柱神の鳥居
^(乙)中山嶺^(丙)山北川
流く今其を^(丁)池
此駒形山の麓の沼と
東門院水立堤と
古四王宮の別當某法印
水口の名の^(戊)近き世
水口村の幡田村と云ふ水を
曳く田佃と云ふ今
^(己)此沼^(庚)荒刈
五月五日の祭の科
此沼と云ふ今
此沼と云ふ今

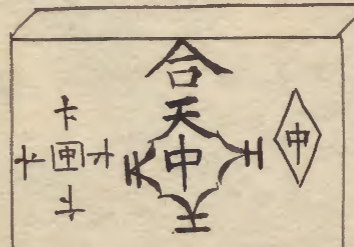


半駒刈り
献上とせ
水立沼
今田
春
五月とあり
てを耕し
稲田
御財天
鬼の歩荷社

白駒山神社と神田村
黒駒も昔は揖野目の
東人せり三月十七日別當
明覺院と云ふ優婆塞之禪自
白板館落人あり故に鏡澤今
三月十七日と云ふ祭りせり



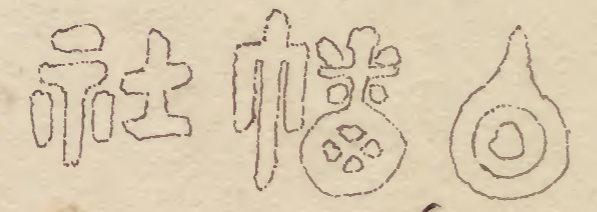
秋田郡ハ幡田村神明社、棟札あり名も多し其ころハ一人にして二人の名と持つ事とせしむハ幡田の平内倍市塚田の三郎次郎と境田村今あり左衛門四郎今土崎淡近光沼邊の砂山の稻荷の社の名小残あり左衛門四郎齋ひきと稻荷と



聖主天中天 大行事帝釋天王
 加陵頻伽聲 今日戒師弘勤菩薩
 物戒師釋迦牟尼如来 碑文殊師利菩薩
 哀愍衆生者 諸行事普賢菩薩
 我等今敬禮 戒行事觀世音菩薩
 願以此功德 普及於一切
 奉新造立 我等與衆生 皆共成佛道

寛永廿一甲申年 九月吉祥日 願主 境田村三郎次郎 左衛門四郎 右衛門四郎 由兵衛 菅田村 平内倍市 清左衛門 伊右衛門 大工宇崎吉兵衛 別當 甚兵衛

天照大神宮社頭二宇二成就祈處



秋田郡水口村白幡社の額臨書 筆者 志々

水口村十五堂福壽庵といふ福壽庵の額も 某人といふ事とあり又此庵ふふ字ノ名號あり 南無阿彌陀佛と書より清人の書あり 裡白 文化六年己巳孫生ノ善導寺樂譽上人より 得之同寺法芽林道舎仏と見えたり

南無阿彌陀佛

玄明園秋日序

二

真感田邑

瀾河邑

中野日邑

惠新山

洛川

田北

洛河村那望

白雲山

國德

高樓

柳

○出羽國秋田郡 二

真藤田邑

濁河邑

中野目邑跡

鬼踰山

添川天館アツカニ

同杉生社

添河村眺望

同藏王山

同藤結山坂

高樹空木

杉生舊地フナミヤトコロ

進藤田村
 其氏の人やい
 きりたあはび
 いづみこ
 土崎の漢せめ
 の
 豊巻備前守
 季林五百餘人
 進藤豊前守
 八柳兵治郎
 岩屋十郎
 石と寺内山
 三騎つて
 陣をとと
 ええ



宜祥寺ノ
 観世音堂
 大野澤山
 濁川村 添川村
 新道田村
 漆澤 又云湯殿澤
 經藏澤
 笹洲
 稻荷社
 宜祥寺ノ觀
 音初瀬山と
 摸でしといふ
 笹洲より龍の
 頭の骨出る
 事あり其記
 梅津氏
 ありけり



濁河村より子の方
 中りて雷臺ありそり
 下り久保田の養老山
 延命寺一乘院の閑居
 寺跡内やての寺世の
 古墓残りぬ其碑も此
 中り光明真言塚あり
 道のつらつら内庚申塚
 村近き田乃中内幡福と
 字あり地あり
 天正の戦ひに尼匠館の
 あり大旗を立て四
 方の味方を集めしを
 つり
 近きころ耕の鉏あり
 ころて朽れ籠や



やうのこの堀りしり
 そら旗籠
 あつむ幡福
 白福をど書て辞ふ
 訛り傳ふなむむと
 つり

文化八年辛未ノ秋
 萬三之丞とつりの家
 ゆりううさささ地震
 くとさ外させ出
 せとこ家さ
 けり
 ぬ事頻々此事を
 たりれハ万々家を
 こちありいさる
 乾 あまを
 文徳天皇實録ノ天安元年
 六月のちり春河國ヨリ上言ス
 今月六日藤院の東の庫振
 動ぬしありむりさるなりと
 あり



中野目村

此村絶くちりびり
のころまで三戸残
り今も今も濁川村
つうつり住ぬ村逆ま
着宮八幡とく神さ
る石を立ころ道祖神
の如く馬年の病をい
のりかくく牛馬の
わさ指を手馴ぬ



八幡宮の神事をや
り八月十五日あり
馬祭といつ
五月五日に





其二
 添川天楯山
 松生社 八千錚神
 神明社 杉生社 近
 五ツ森 旭川
 鶴ヶ平の池
 大黒松

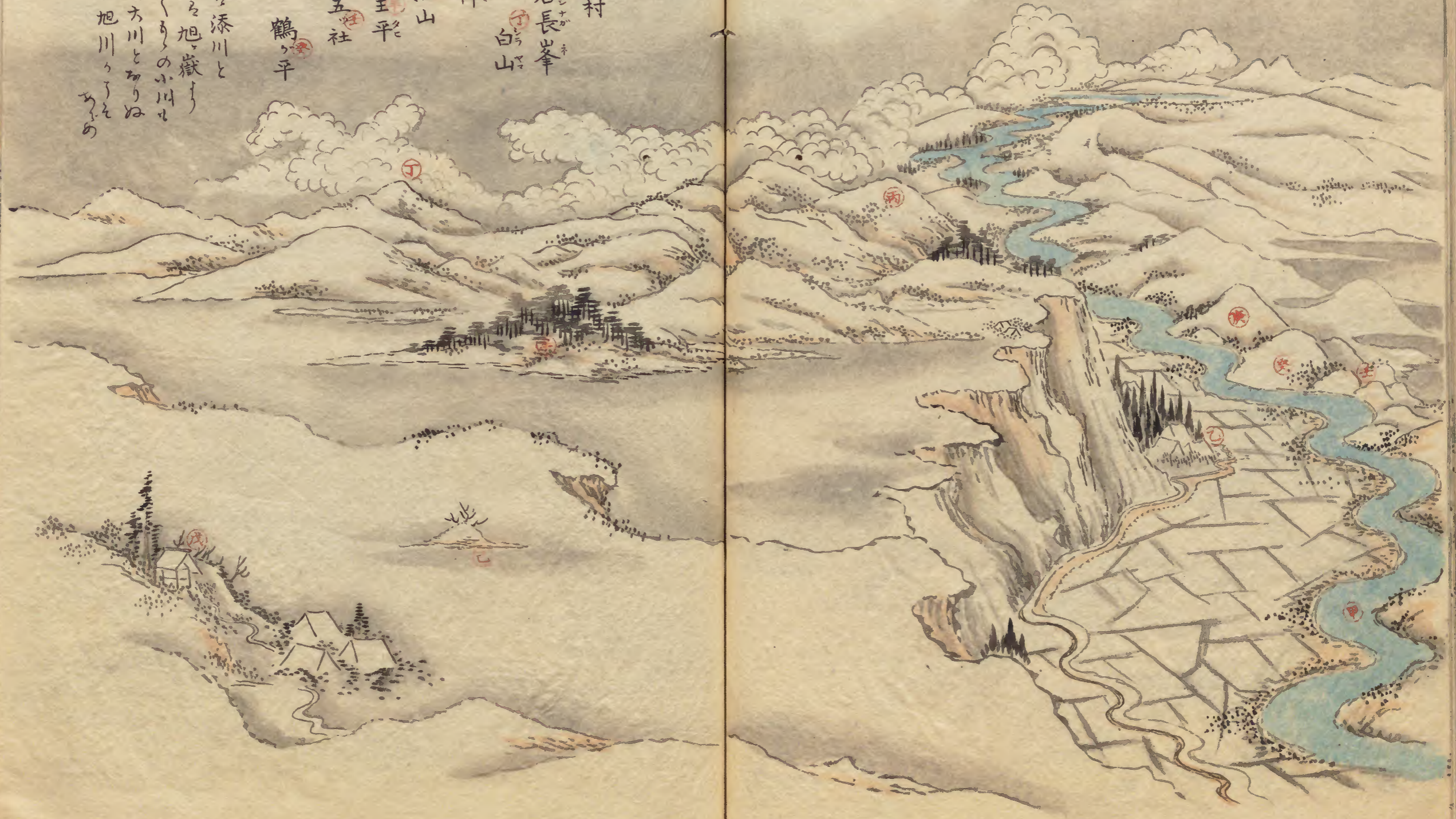




其三
 添河村 杉生社
 神明社 熊野社
 高木社 観音
 大黒松 旭川
 天楯山 湯澤村

村をとりて添川と
 いや水止る旭嶽
 尾をめぐりての小川
 添川流る大川とありぬ
 是ての名は旭川とありぬ
 ありぬ

添川
 松原村
 熊野社
 道祖神
 羽黒山
 藏王平
 五社
 鶴ヶ平
 石長峯
 白山





添川の湯澤山小地藏平藏王平カミヤカミあり
 地藏平に池あり池の小石地藏カミヤカミを急カミせせ
 藏王平カミ小三尺斗り石小藏王カミ権現をカミ
 急カミせせりその石れみこれ背小湯澤山
 兼福寺也寶永三年仲冬日
 小カミつカミり此寺今
 禪宗カミ添河村よ
 ありそり寺カミ池乃
 邊の篠生れ中カミ残カミ
 てそりりり

此池石佛享保
 七年八月吉日
 願主元定禪
 者と急カミせ

添河

同名山本郡に在り

藤結の岡甲

坂乙藏王山

亀ノ水丙

鷲ノ森

湯ノ澤丁

温泉村

熊野社戊

湯泉明神己

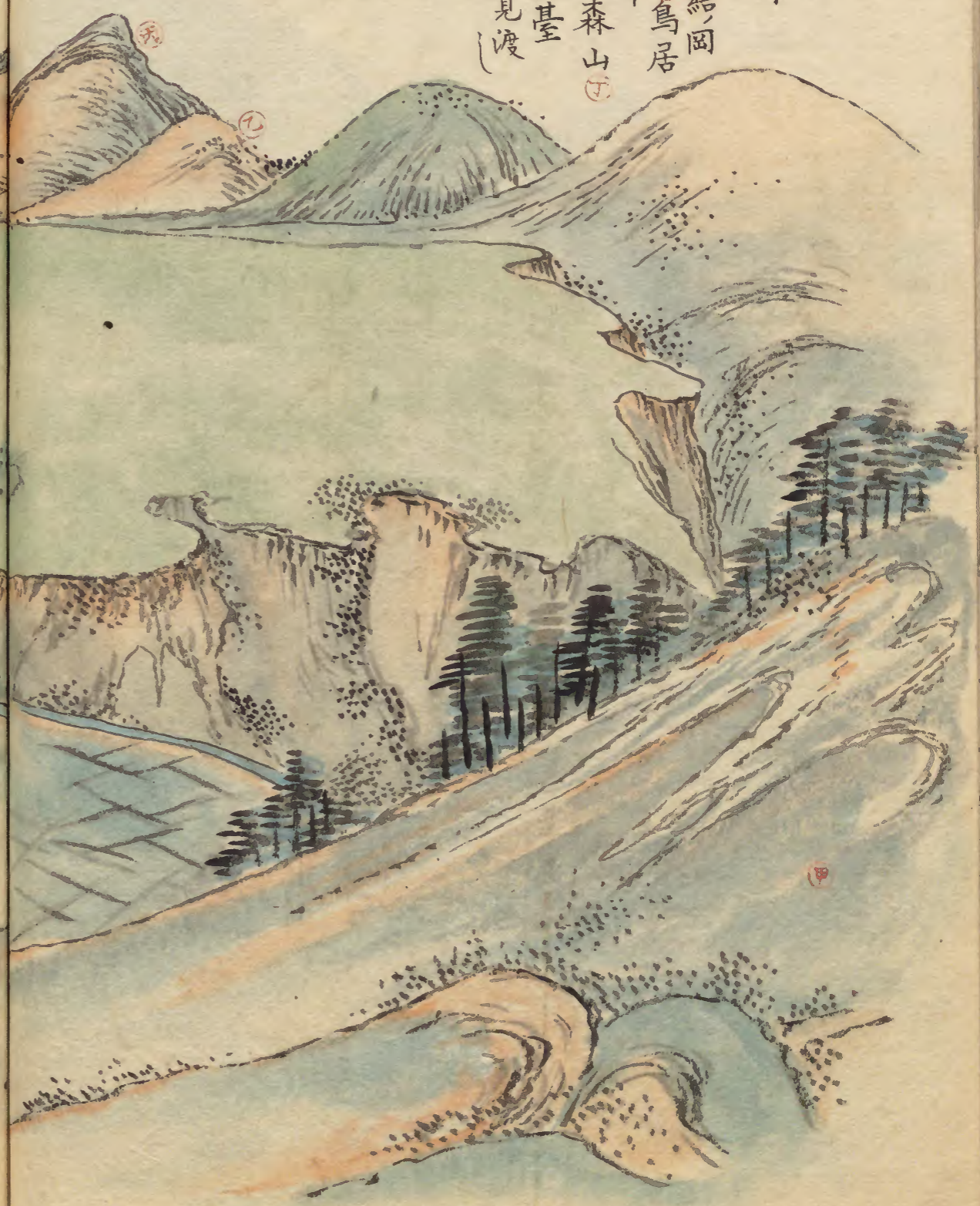
とせの



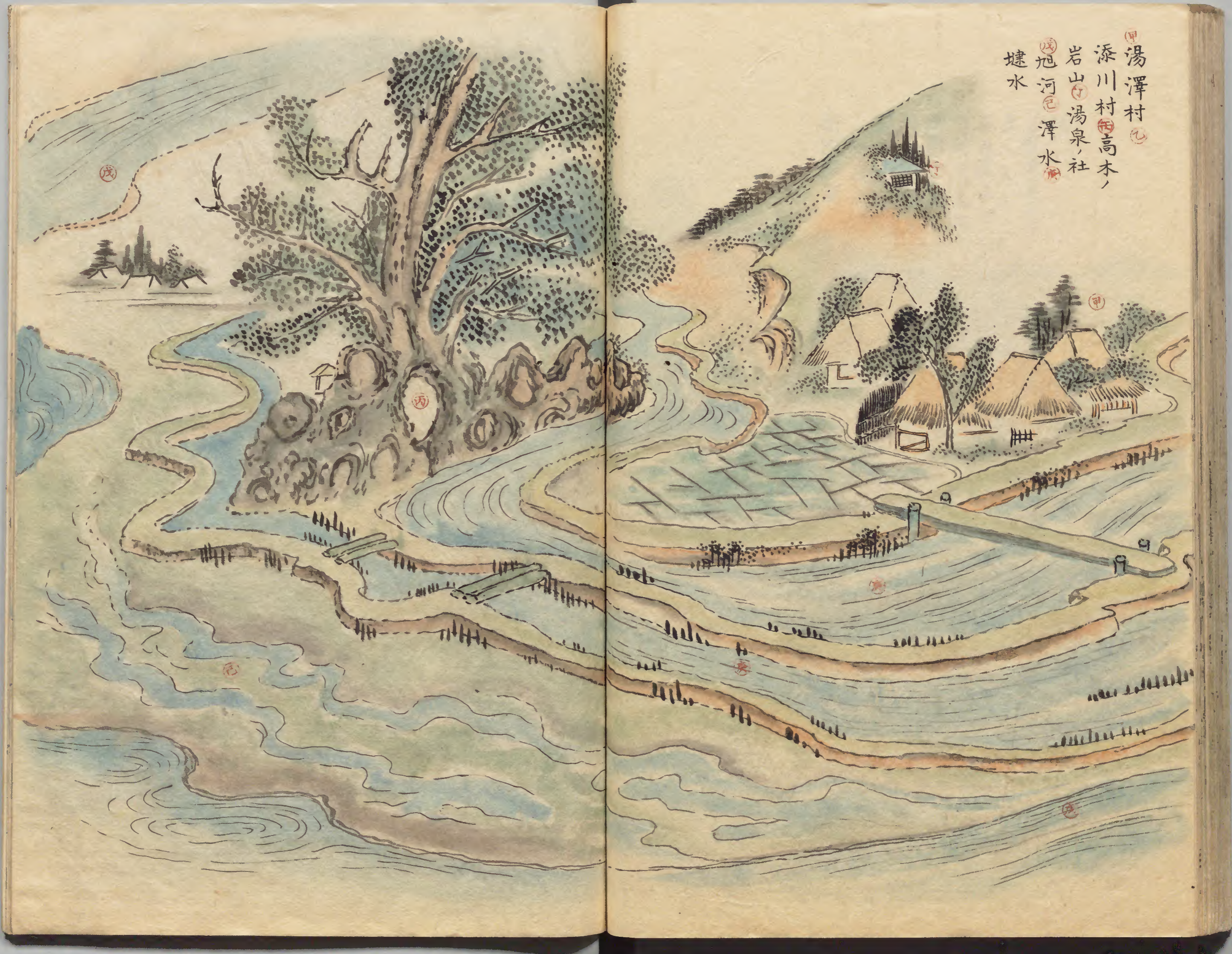
添河流螢
 峴嶽宗鄉
 螢火逐風密又
 踈璇璣隊水
 銜輿燃波照
 岸添光景勝
 地品題名不
 虛
 右見于翠陰堂主人
 記中



添川
 藤結岡
 鳥居
 長峯
 鷹乃基
 鷹乃基
 鷹乃基



甲 湯澤村
添川村 高木
岩山 湯泉社
旭河 澤水
埧水



① 高木の空
木も湯澤の
遠く在り其
大槻よりて高
槻の省語や
祠あり
庚申の





甲 杉生大明神
 乙 内外宮 大黒松
 丙 尾館又云天岡
 丁 楢黒羽ノ湖 古川ノ跡
今堰ノ跡
 旭川 五ツ森山



杉生明神甲古社乙
 湯澤の西湯澤丙
 其基此の坡の下
 小寺せり丁
 旭川社の岸と
 流戊言川とあり
 沼とあり己田とあり
 長田と宮庚是より
 大永の棟札あり其世
 寄ふれ辛宮田と
 とい壬知と
 え癸
 金釣梨生甲松原
 村近乙
 森あり丙 幸神の



四十三枚

四十三

